

II 重点的取組

現在、世界人口の大半は都市に暮らしており、都市居住者が世界の天然資源の75%を消費し、廃棄物の大半を生み出しています。都市は地球環境に大きな影響を及ぼしており、私たちの地球を次世代につなげていくためには、それぞれの都市が持続可能な社会の実現に向けて最善の努力をすることが必要です。

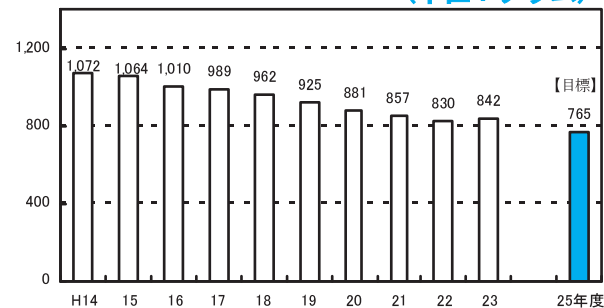
この問題解決のためには、既存の社会システムから脱却し、資源とエネルギーの大量消費に依存しない新しい循環型の社会を構築していくことが求められています。

本市は、持続可能な社会の実現のため、ゼロエミッションシティ広島を推進と地球温暖化対策の推進を、環境基本計画の重点的取組としています。

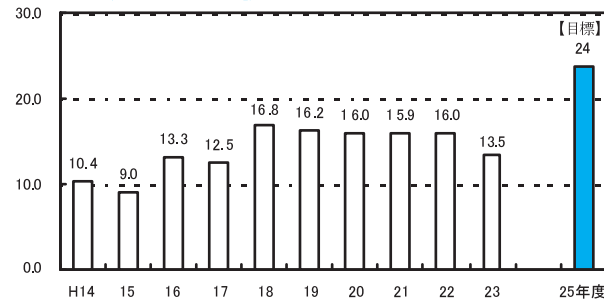
ゼロエミッションシティ広島の推進

平成21年3月、これまでの取組や達成状況、組成分析調査の結果などを踏まえ、環境への負荷をさらに低減し、将来世代によりよい環境を継承していくため、平成25年度を目標年度とする「ゼロエミッションシティ広島を目指す第2次減量プログラム」を策定し、「市民1人1日当たりのごみ排出量」、「資源化率」、「埋立処分率」の3つの目標を設定して、より一層のごみの減量・リサイクルに向けて取り組んでいます。

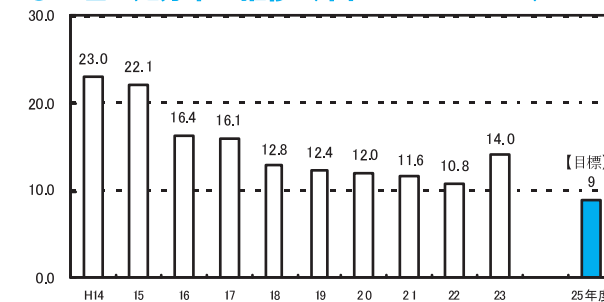
○ 市民1人1日当たりのごみ排出量の推移 (単位: グラム)



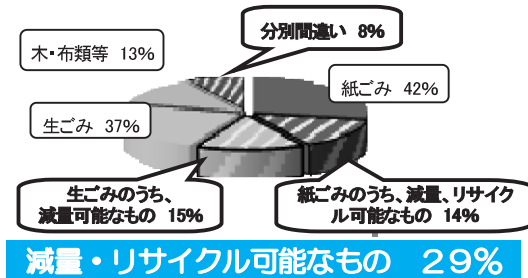
○ 資源化率の推移 (単位: パーセント)



○ 埋立処分率の推移 (単位: パーセント)



○ 家庭から出される「可燃ごみ」のうち、約3割が減量可能です。



減量・リサイクル可能なもの 29%

(平成23年度組成分析結果より)

○ 1人1日100グラムのごみ減量運動 3人家族での減量効果 (単位: グラム)

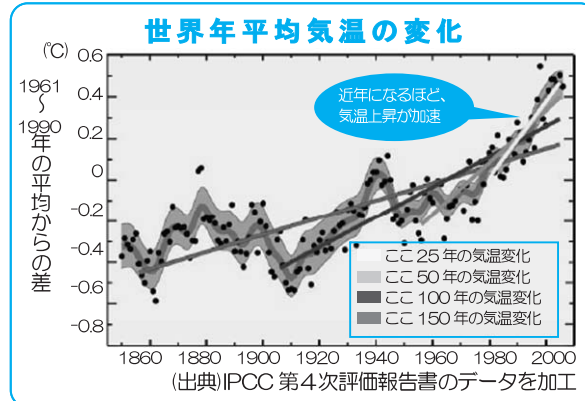
減量メニュー	減量効果
買い物袋を持ってお買い物	16
スーパーの店頭回収を利用	83
詰め替え用商品を購入	70
生ごみの水切り	50
エコクッキング	60
トレー包装ではなく、ばら売り、量り売りの食品を購入	15
職場でマイカップ、マイはしを利用	18
合計	312

118万人で取り組めば、1年間で約4万5千トンの減量に！

地球温暖化対策の推進

地球温暖化は、その予想される影響の大きさや深刻さからみて、人類の生存基盤に関わる喫緊の課題であり、世界的な対策が必要です。

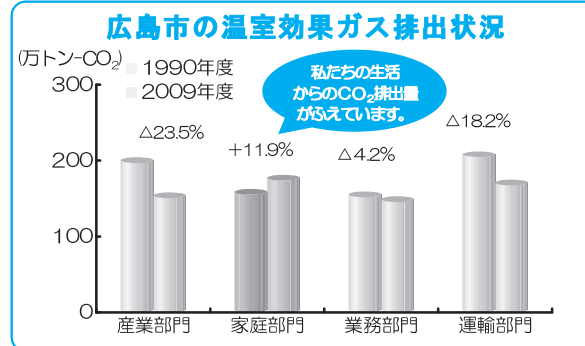
地球温暖化の主な原因は、石油などの化石燃料を燃やす時に発生する二酸化炭素(CO₂)であるため、地球温暖化問題は、エネルギー問題であるともいえます。



○ 本市市域からの温室効果ガス排出量

本市市域からのCO₂など温室効果ガスの排出量は、おおむね横ばいで推移しています。

しかし、家庭部門からの排出量は、世帯数の増加、家電製品の保有台数の増加や大型化などにより、著しく増加しています。



地球温暖化のメカニズム

もしも地球上に温室効果ガスがなかったとすれば、地球の平均気温はマイナス18℃となり、生命の存在できない極寒の星となるといわれています。

地表の平均気温は、①太陽から届く日射エネルギーが地表面に吸収され、②加熱された地表面から、熱が赤外線として放射され、③温室効果ガスがこの熱を吸収し、④その一部を地表に向けて放射して、再び地表面や下層の大気を加熱することにより、生物の生存に適した約15℃に保たれています。

近年の人間活動の拡大に伴う石油など化石燃料の燃焼により、温室効果ガスの一つである二酸化炭素が大量に大気中に排出され、その結果、地球温暖化が顕著になっています。

省エネにチャレンジ！

私たちの生活からのCO₂排出量を減らすためには、どんな方法があるのでしょうか。

ひとつは、太陽光などの再生可能エネルギーの導入です。広島市は、日射量に恵まれており、約9,140戸の住宅に、太陽光発電システムが設置されています。

もう一つは、身近な取組で、地球も財布も喜ぶ省エネです。みなさんもチャレンジしてみませんか。

(□の中は1年あたりCO₂削減量の目安です。)



自動車の発進は、普段より少し緩やかな発進を心がける。(最初の5秒で、時速20kmが目安)

194kg/年

照明は、省エネ型の蛍光灯や電球形蛍光灯を使用する。(白熱球54Wを電球形蛍光灯12Wに交換)



29kg/年



お風呂は、間隔をおかずに入るようにして、追い炊きをしない。

90kg/年